

第 233 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 11 回)

日時：2018 年 9 月 5 日 (水) 10:00～13:00

場所：名古屋大学・IB 電子情報館北棟 5F・電気系会議室

シンポジウムのメイン会場 (IB 電子情報館中棟 1F) の北側に隣接する建物の 5F

http://fss2018.j-soft.org//place_fss2018.pdf

出席者 (敬称略)：林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 星野 (大会デザイン; オブザーバー), 能島 (広報), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブズ), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略)：工藤 (出版・他学会連携)

【審 議】

1. 前々回議事録の確認 (資料 233-0 : 広兼)

- ・資料 233-0 に基づき, 前々回議事録の内容について説明があった.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 9 月 12 日までに総務担当理事へ連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで, HP へ公開することとした.

2. 前回議事録の確認 (資料 233-1 : 広兼)

- ・資料 233-1 に基づき, 前回議事録の内容について説明があった.
- ・ザデー先生追悼イベント特別セッションで利用するザデー先生の写真については, 本日の理事会終了後, 実行委員長に確認することとした.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 9 月 12 日までに総務担当理事へ連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで, HP へ公開することとした.

3. 第 29 回総会議事録の確認 (資料 233-2 : 広兼)

- ・資料 233-2 に基づき, 第 29 回総会議事録の内容について説明があった.
- ・「2. 本総会での敬継方法について」を「2. 本総会での決議方法について」に修正することとした.
- ・「4. 質疑」における回答の「FSS は約 150 万円, IFSA-SCIS は約 125 万円である…」を「FSS2017 は約 150 万円の黒字, IFSA-SCIS2017 は約 125 万円の黒字である…」に修正することとした.
- ・「6.1 平成 30 年度事業計画」における「…シニア世代研究アイ…」を「…シニア世代研究会…」に修正することとした.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 9 月 12 日までに総務担当理事へ連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで, HP へ公開することとした.

4. 第 15 期第 2 回評議会議事録の確認 (資料 233-3 : 広兼)

- ・資料 233-3 に基づき, 第 15 期第 2 回評議会議事録の内容について説明があった.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 9 月 12 日までに総務担当理事へ連絡することとした.

- ・その後、意見に基づき修正したうえで、総務担当理事から評議委員長に連絡することとした。

5. 年間購読料について（資料 233-4：櫻井）

- ・資料 233-4 に基づき、学会誌の年間購読料について説明があった。
- ・現状は 1 冊 2000 円で年間 6 冊の 10%割引で、10,800 円（=2000X6X0.9）となっている。
- ・消費税が 10%になったときの対応について議論した。
- ・年会費も含めて、次回の理事会で議論を継続することとした。年会費を上げるためには慎重な議論が必要で、各委員会での経費削減方法、イベントでの黒字の拡大策なども含めて議論したうえで、総会での同意が必要であることを確認した。
- ・次回理事会において継続審議とした。

6. FSS の名称変更について（資料 233-8：林）

- ・資料 233-8 に基づき、FSS の名称変更について説明があった。
- ・FSS の名称変更や企業との連携などについて検討していくため、学会員全員へのアンケート調査を実施することを確認した。
- ・アンケート調査の実施にあたりワーキングを設置することとした。

7. 名誉会員の推薦について（資料なし：乾口）

- ・副会長より、名誉会員の推薦について提案があった。
- ・60 歳以上の方のリストと会長・副会長・理事・支部長のリストを参考として名誉会員の候補者を絞り込んだところ、2 名が名誉会員の候補となることが報告された。
- ・理事・支部長まで条件に入れると名誉会員の数が増えすぎて会費収入の減少が懸念される。
- ・理事については複数回という条件で候補者を絞っていくこととし、今年度は複数回理事を担当されている 1 名を候補者とする事とした。
- ・他学会の例としては、ポイント制で基準をクリアした方を候補者としており、基準を HP に掲載しているところもある。
- ・次回の理事会で、他学会の例などを参考として、功績賞と名誉会員の基準を検討していくこととした。

8. ファジィ制御のチュートリアル講座の検討（資料 233-9：本多）

- ・資料 233-9 に基づき、ファジィ制御のチュートリアル講座の検討について説明があった。
- ・ファジィ制御のチュートリアル講座の開催について検討したことが報告された。
- ・企業からの参加者を増やすための方策（テーマ「ファジィ制御，クラスタリング」，講座回数，FSS の前日に独立した形で開催する，ライブラリなどを提供するなど）を再度検討していくこととした。

9. J-STAGE への対応について（資料 233-13：星野）

- ・資料 233-13 に基づき、J-STAGE への対応について説明があった。
- ・FSS2016, FSS2017, FSS2018 の論文を J-STAGE にアップする作業が必要であることが報告

された。

- ・FSS2016 と FSS2017 はアブストラクト情報がないため、論文 PDF からコピーする必要がある時間（経費）がかかる。
- ・FSS2018 の論文からは必要情報をすべて含んでいくため、作業は軽減される。ただし、アブストラクトが論文内容と一致するかをチェックする必要がある、この作業には時間（経費）がかかる。アブストラクトについては著者責任、あるいは、申込時のアブストラクト入力をやめて論文投稿時にアブストラクトを入力するなどの方策を検討する必要がある。
- ・過去の論文についても同じ状況なので、FSS2016 と FSS2017 については著者とタイトルのみをアップすることとした。
- ・FSS2018 についてはアブストラクトのチェックをしたうえで、著者とタイトルに加えてアブストラクトもアップすることとした。
- ・作業についてはアルバイトでお願いすることとした。
- ・FSS2016 と FSS2017 にかかる経費については本部予算をあてることで了承された。

10. FSS2019 の標語・テーマについて（資料なし：乾口）

- ・FSS2019 の実行委員長（副会長）より、FSS2019 の標語・テーマについて説明があった。
- ・30 周年ということでイベントを企画するのであれば理事会で検討する必要がある。
- ・20 周年のときは査読付きセッションを企画して、採択された論文は論文誌に掲載された。
- ・標語・テーマとしては 30 周年を特に考慮しなくても良いことを確認した。
- ・標語・テーマを関西支部で議論して、提案することとした。

11. SCIS-ISIS の運用について（資料 233-14：星野）

- ・資料 233-14 に基づき、SCIS-ISIS の運用について説明があった。
- ・IEEE で進めるためには、論文の質（採択率）などの制約が厳しいため、運用については大会本部で検討して決定すれば良いことを確認した。
- ・会議場は大学キャンパスが望ましいため、宿泊先やレジストレーションについては業者に委託する必要がある。この業者についても IEEE との契約が必要であることを確認した。
- ・前例に従い IEEE に掲載する方向で進めているのが現状であり、採択率をクリアする努力が大変であることを考慮して、今後は大会デザインで IEEE に掲載するかしないかも含めて検討・決定していくことを確認した。その際、韓国側との議論が必要であることも確認した。

12. FSS2018 のユニバ関連事業の報告について（資料なし：林）

- ・会長より FSS2018 でのユニバ関連事業について説明があった。
- ・企業の方にも好評であったことが報告された。
- ・次回の FSS2019 で企業と研究者の研究相談の新しい企画が提案された。
- ・学会と学会の関係も将来は展開する予定であることが報告された。
- ・詳細については次回理事会にて報告することとした。

13. FAN2019 の開催について (資料 233-15 : 林)

- ・資料 233-15 に基づき、FAN2019 について説明があった。
- ・FAN2019 の開催について、富山県立大学の高木先生が大会委員長、増田先生が実行委員長で計画を進めていることが報告された。
- ・FAN の実施については大会の計画をこれまで 2 回続けてパスしてきた経緯もあり、理事会としては反対意見もなく承認された。

14. 学会誌への広告の掲載について (資料なし : 櫻井)

- ・会誌担当理事より、会誌への広告依頼があったことについて説明があった。
- ・これまでは、カラー1 ページで 25 万円、白黒 1 ページで 5 万円であったことが報告された。
- ・学会誌の印刷業者に確認したところ、印刷費実費はカラー1 ページで約 10 万円、白黒 1 ページで約 7000 円かかることが報告された。
- ・上記実費を参考に、広告の掲載費は、カラー1 ページで 15 万円、白黒 1 ページで 4 万円とすることとした。

15. その他

- ・特になし

【報 告】

1. 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦について (資料 233-5 : 広兼)

- ・資料 233-5 に基づき、東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦について報告があった。
- ・6 月 21 日に SOFT メーリングリストにて推薦を募集 (8 月末) したが、応募者がいなかったことが報告された。

2. 学会賞について (資料 233-6 : 井田, メール審議 7/26 承認)

- ・資料 233-6 に基づき、メール審議のとおり、学会賞を決定して表彰したことが報告された。

3. 支部・研究部会のページについて (能島, メール審議 8/17 承認)

- ・広報担当理事より、メール審議のとおり、支部・研究部会のページを作成して運用を始めることが報告された。

4. シニア世代研究会および資料アーカイブズ委員会への加入希望調査結果について

(資料 233-7-1, 2 : 前田)

- ・資料 233-7-1, 2 に基づき、シニア世代研究会および資料アーカイブズ委員会への加入希望調査結果が報告された。
- ・シニア世代研究会への参加意思を表明されている方が 29 名いることが報告された。
- ・アーカイブ資料について、現在はバラバラで体系的にまとまったものがない状況である。今後も資料提供の依頼を進め、アーカイブ資料として体系的にまとまったものを作り上げていく作

業を継続していくことが報告された。

5. 平成 30 年度第 1 回事業委員会議事録 (8/10 開催) (資料 233-10 : 本多)

- ・資料 233-10 に基づき, 平成 30 年度第 1 回事業委員会議事録の内容が報告された。
- ・SOFT 研究推進支援事業 (助成金) について検討したが, 財政的・運営的負担を考慮して今年度は実施しないことが報告された。

6. 平成 30 年度拡大事業委員会資料 (9/4 開催) (資料 233-11 : 本多)

- ・資料 233-11 に基づき, 平成 30 年度拡大事業委員会資料の内容が報告された。

7. FSS2016~2018 の論文の J-Stage 登録 (資料 233-12 : 本多)

- ・資料 233-12 に基づき, FSS2016~2018 の論文の J-Stage 登録状況が報告された。
- ・審議事項「9. J-STAGE への対応について」において, 報告された。
- ・FSS2018 の論文については, 大会デザイン委員会と FSS2018 実行委員会を中心に, J-STAGE への登録作業の準備がされていることが報告された。
- ・FSS201 と FSS2017 の論文については, FSS の実行委員会は解散しているため, 大会デザイン委員会で J-STAGE への登録作業の準備がされていることが報告された。作業にかかる経費については, 本部からの予算支出が必要であることが報告された。

8. その他

- ・次回理事会の開催日はメールにて調整することとした。

以上